



シクリスムエコー

www.jcf.or.jp

### シクリスムエコーNo.88 2002年7月号

第5回全日本選手権トラックレース.....	2	MTBアジア大陸選手権・代表選手団 .....	13
第5回全日本選手権ロードレースほか.....	4	競技大会結果 / 室内世界選手権派遣決定戦ほか .....	14
2002年JOCジュニアオリンピックカップ / 日本新記録・7	7	資格審査委員会ほか決定事項 .....	15
2002年全日本選手権個人タイムトライアル大会・8	8	日本スポーツマスターズ2002実施要項(抜粋) .....	15
第41回学生選手権チームロードレースほか .....	8	JCFニュース(ヘルメットの新規公認) .....	15
UCIニュース(アテネ・オリンピック参加資格制度) ..	9	第14回アジア競技大会・日本選手団 .....	16
2002ロード・トラック・ランキング .....	12	連盟の動き / 編集後記 .....	16



## 第5回 全日本選手権トラックレース

昨年みやぎ国体を行い、その興奮いまだ冷めやらぬ宮城県大和町の宮城県自転車競技場において、第5回全日本自転車競技選手権が開催された。

### 《女子500mタイムトライアル》

ソルトレーク五輪スケート500m日本代表で、今季より本格的に自転車競技を始めた大菅が、この種目に参戦した。大菅がこの種目を制するのか？



500mTT2位の大菅

はたまた迎え撃つ第一人者の太刀川が勝つのか？ 観衆の注目を集め競技はスタートした。第1組で大菅がスタートに失敗しながらも37秒558とまずまずのタイムを出し太刀川選手を待つ。そして最終組でスタートした太刀川選手は、抜群のスタートからスピードに乗り37秒258を出し大会4連覇を飾り、全日本アマチュア選手権に続く今季2冠達成となった。

### 《男子1kmタイムトライアル》

この種目には昨年に続く勝利を目指す、シニア日本記録保持者の大森選手に注目が集まった。最終組スタートの大森はスタートから飛ばし、一気にトップスピードに乗せてそのままゴー



1kmTT優勝の大森

ポイントレース優勝の西谷(左)



ル。1分5秒347と2位井上に0秒417の差をつけ大会2連覇を達成した。

### 《男子30kmポイントレース》

20名でスタートしたこのレースは、選手の力が拮抗しているためか、めまぐるしくトップが変わりながらも集団がバラける事無く進む。最終回ポイントを残し、西谷が16点、飯島が15点、吉井が12点とこの三人が優勝を狙える位置にいたが、この中の誰もゴールポイントに絡む事が出来ずに西谷の優勝となった。西谷は全日本アマチュア選手権に続く2冠となり、昨年の国体に続きこのトラックで勝って相性の良さも示した。

### 《女子3km個人追抜競走》

予選に於いて大会新記録を出した杉村が、決勝も逃げ切り嬉しい初優勝を遂げた。

### 《男子4km個人追抜競走》

予選と同じ組み合わせとなった決勝のレースは、最初の1kmを飯島規之がリードするが中盤で追いつかれ黒木に逆転を許した。予選ではここから飯島

が再逆転したが、決勝は黒木が踏ん張りそのまま逃げ切り、全日本アマチュア選手権に続く2冠となった。

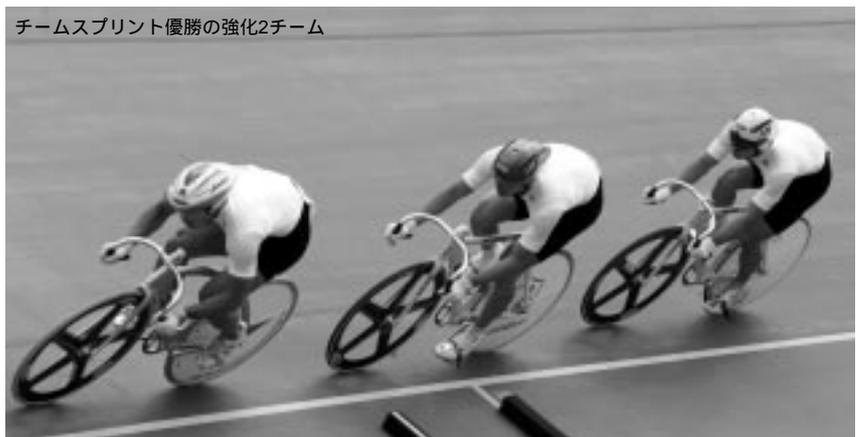
4kmIP優勝の黒木



### 《チームスプリント》

予選より圧倒的強さを見せた強化委員会推薦の2チームが決勝に進んだ。レースは2走者まで強化1チーム(長塚、神山、井上)がリードするが、最終走者の大森が逆転し強化2チーム(渡辺、金子、大森)が優勝した。

チームスプリント優勝の強化2チーム





女子スプリント3連覇の太刀川(右)

### 【女子ポイントレース】

8回あるポイント周回すべてに絡み、圧倒的強さを見せた大塚が、全日本アマチュア選手権に続き2冠となった。

### 【女子スプリント】

決勝2回戦を遠藤に取られヒヤッとした太刀川ではあったが、3回戦を勝ち3連覇を飾ると共に今大会2冠の達成となった。

### 【男子スプリント】

1/4決勝の一回戦で敗れ一時はどうなる事かと思った金子であったが、その後は順調に勝ち続けて見事初優勝を飾った。

### 【男子団体追抜競走】

予選に於いて大会新記録を出したJPCA1チーム(JPCU富山)が、圧倒的強さで広島チームを破り、この種目を制した。

### 【男子マディソン】

8チームが出場したこのレースは、最初から順調に得点を重ねたJPCA(福島、水谷)チームが逃げ切って、福島はこの種目2連覇となった。

### 【男子ケイリン】

決勝は4番手に付けて飛び出すタイミングを伺っていた山田が、ラスト一周でスパートし、そのまま逃げ切って現在競輪の賞金王争いトップの貫禄を見せた。(早坂 和広)



男子スプリント決勝

### [ 競技結果 ]

#### 男子1kmタイムトライアル

- 1 大森 慶一 強化 北海道 1:05.347
- 2 井上 昌己 強化 JPCU長崎 1:05.764
- 3 村上 義弘 JPCA JPCU京都 1:06.417
- 4 中川誠一郎 強化 JPCU熊本 1:06.475
- 5 在本 直樹 岡山 青少年SC 1:06.770
- 6 竹沢 浩司 富山 日本大学 1:08.455

#### 男子スプリント

- 1 金子 貴志 JPCA JPCU愛知
- 2 伊勢崎彰大 強化 JPCU千葉
- 3 長塚 智広 JPCA JPCU茨城
- 4 北津留 翼 福岡 豊国学園高校
- 5 永井 清史 強化 岐阜
- 6 渡辺 晴智 強化 JPCU静岡

#### 男子ケイリン

- 1 山田 裕仁 強化 JPCU岐阜
- 2 太田 真一 JPCA JPCU埼玉
- 3 山口 富生 JPCA JPCU岐阜
- 4 堤 洋 強化 JPCU徳島
- 5 朝倉 佳弘 東京 パシフィック'90
- 6 櫻井 丈 静岡 MATTO VELOCE

#### 男子4km個人追抜競走

- 1 黒木 裕介 宮崎 法政大学 4:44.339
- 2 飯島 規之 JPCA JPCU埼玉 4:44.900
- 3 佐々木孝司 JPCA JPCU青森 4:52.012
- 4 坂口 博 愛知 愛三工業 4:53.718
- 5 白井 昌巨 岐阜 岐南工業高 4:54.946
- 6 浦門 義人 兵庫 中央大学 4:56.237

#### 男子ボートレース(30km)

- 1 西谷 泰治 広島 日本大学 16p
- 2 飯島 規之 JPCA JPCU埼玉 15p
- 3 窓場加乃敏 JPCA JPCU京都 13p
- 4 吉井 功治 強化 JPCA・日本舗道 12p
- 5 高島 豪 埼玉 中央大学 11p
- 6 武藤 大輔 高知 高知中央郵便局 10p

#### 男子4km団体追抜競走

- 1 JPCA1 坂上・北野・坂上・北野4:28.421
- 2 広島 西谷・吉野・吉井・福本 4:33.319

- 3 高体連 白井・小岩・伊原・青木 追抜勝
- 4 JPCA2 阿部・中山・田村・佐野 追抜負

#### 男子チームスプリント

- 1 強化2 金子・渡辺・大森 1:02.382
- 2 強化1 神山・長塚・井上 1:02.547
- 3 中国選抜 福井・吉田・在本 1:04.790
- 4 高体連 甲斐・北津留・須賀 1:05.092

#### 男子マディソン(40km)

- 1 JPCA 福島・水谷 47p
- 2 強化 飯島・吉井 35p
- 3 学連1 圓谷・盛 14p
- 4 実業団2 坂口・楠本 12p
- 5 実業団1 高橋秀・高橋栄 (-1) 9p
- 6 富山 竹沢・坂本 (-1) 5p

#### 女子500mタイムトライアル

- 1 太刀川麻也 茨城 スパ・Kアスリート 37.258
- 2 大菅小百合 強化 長野・三協精機 37.558
- 3 遠藤 友子 大分 鹿屋体育大学 38.373
- 4 篠崎 新純 千葉 千葉経大付高 38.714

#### 女子スプリント

- 1 太刀川麻也 茨城 スパ・Kアスリート
- 2 遠藤 友子 大分 鹿屋体育大学
- 3 中尾 友美 奈良 筑波大学
- 4 篠崎 新純 千葉 千葉経済大学付属高

#### 女子3km個人追抜競走

- 1 杉村 久美 岩手 4:03.619
- 2 大塚 歩 栃木 ビックリ- 4:03.890
- 3 村中恵美子 東京 カリヨミヤザリ 4:09.561
- 4 斎藤 綾 秋田 順天堂大学 4:10.664

#### 女子ボートレース(16km)

- 1 大塚 歩 栃木 ビックリ-エグザス 32p
- 2 杉村 久美 岩手 14p
- 3 斎藤 綾 秋田 順天堂大学 14p
- 4 坂井田理沙 青森 八戸大学 11p
- 5 大塚 恵美 東京 明治大学 11p
- 6 松永 舞美 香川 法政大学 3p

## 第5回 全日本選手権ロードレース

第71回 全日本アマチュア選手権ロードレース・第7回 ジュニア全日本選手権ロードレース



今年の全日本は、6月の29日、30日の二日間にわたりタフなコースで知られる広島県中央森林公園のロードコースにて行われた。カテゴリーはジュニア、U23、女子、そして国内最強レーサーを決めるエリート、4つのチャンピオンシップが行われた。

ジュニア 120km(12km×10周)

レースは1周目から小さな逃げが繰り広げられていた。高校生のレースはお互いの手の内がわからないので牽制し合うことが多い。だが最近のジュニアレースは前へ前へと出る選手が多いので良い傾向だと思う。2周目に飛び出した長沼(埼玉・小松原高)が3周目には1分程度の差を付けるが捕まってしまう。6周目には立里(山形・山形電波工)がプロトンから飛び出し、向川(大阪・中京大)・小椋(岐阜・日大)・櫻井(神奈川・立命館大)・中島(福井・北桑田高)・小岩(大分・日出陽谷高)らが追う形となった。立里の逃げは7周で終わり、替わりに飛び出たのは小岩と向川だった、しかし小岩に向川は付いてゆくことが出来ずに後退する。小岩の逃

げは確実なペダリングで差を広げ9周目には2分程度の差を付けていた。その間前田(和歌山・和歌山北高)や吉次(山口・多々良学園)らが追走を試みるが追いきれず後続に吸収される。最終周回の10周目になっても小岩は約2分

の差を守り、圧倒的なリードで勝利をものにす。最終周回に第2集団を形成した長(和歌山・田辺高)・畑中(東京・昭和第一学園)・村上(山形・山形電波工)・天沼(北海道・尚志学園)が順次ゴールした。2位に入賞した長は往年の名スプリンター長義和氏の息子でこれからは長選手といえは息子のことを指すようになっていくのだろう。また、2位3位4位の長、畑中、村上らをはじめ、10位までのうち5人は来年もジュニア選手であり、来年のジュニア全日本選手権ロードレースが今から楽しみだ。ともあれ今年のジュニア全日本選手権ロードは小岩がその実力を見せつけて幕を閉じた。

U23 144km(12km×12周)

今年のレースは昨年度U23ロードランキング上位者で今年もU23の選手がどう戦うか、また、昨年ジュニアで大暴れした土井、別府がどのような走りを見せるか、あたりが楽しみであった。レースは序盤戦和野内(大阪・ナカガワ)の逃げから動き始めた。和野内の逃げを追う第2グループ、そしてメイン



ジュニアの先頭集団



U23優勝の西谷

集団という形でレースは進んでいく。第2集団は初めは7人程度のグループだったが、メイン集団から抜け出る選手を順次加え、14人程度にふくれていった。和野内からメイン集団まで一時は1分半程度の差がついたが、5周目に追走グループに捕まった。結局は和野内は約50kmを一人で逃げ続けたことになる。8周目に渡邊(京都・京大)・辻(大阪・京産大)らが逃げるが決まらない。メイン集団から抜け出て先頭集団に追いつき、その勢いでさらに逃げを打った辻(奈良・Testach)だが、再び集団に吸収されるとそのまま先頭から遅れていった。残り4周あたりから先頭集団はめまぐるしく入れ替わり、盛(茨城・日大)・別府(神奈川・ブリヂストン)・宮崎(神奈川・Equipe ASADA)・品川(京都・ミヤタ)・和野内・清水(岡山・京都産業大学)・若本(広島・京都産業大学)・西谷(広島・日本大学)の8人となる。最終周回、清水が逃げを試みるが決まらない。勝負はゴールスプリントに持ち込まれ、スプリントに

定評のある西谷が優勝し、2位には注目の別府が入った。西谷は地元広島での優勝となり、喜びもひとしおのようだった。

女子 84km(12km×7周)

フランスのチームで走っている、沖(JPCA・チェプロ)に他の選手がどのように絡んでくるかが見どころだろう。しかし、いつもなら先頭集団でレースを揺さぶる森本 朱美(鳥取)の欠場が残念だ。沖にフランスで走っている1日150kmを越す距離をこなすタフなステージレースの話等を聞いていると、この全日本選手権ロードに対する



女子優勝の沖

不安というものは彼女からは微塵も感じられなかった。

レースは序盤から沖・唐見(石川・BIKESYSTEM)のランデブーとなり、辛うじて西(千葉・ラパネロ)・大塚 歩(栃木・A+00)・大塚 恵美(東京・明大)

中村(奈良・順天堂大)・村中(東京・キヨミヤザワ)らが第2集団を形成していたが、先頭二人を追うという余力のあるものでもなかった。終盤、沖は唐見をあっさり突き放し最終的に唐見に約1分半、3位の大塚 歩に約3分半、4位の中村に4分半の差を付け、快勝した。

エリート 180km(12km×15周)

基本的に全日本ロードはインディヴィデュアルロードレースである。だが、エリートのレースではチームの色が出てくる。過去この広島で行われた全日本選手権ロードで現実的にレースをコントロールした場面を記憶しているのはシマノレーシングチームとブリヂストンアンカーの2チームだ。後は個々の選手のレースの構成力に委ねられている。

レースは序盤戦広瀬(JPCA・ブリヂストン)・行成(岡山・ミヤタ)・田中(愛知・愛三工業)・三浦(JPCA・GIANT)・日置(兵庫・KINAN)・宮沢(長野・ブリヂストン)・山本(神奈川・シマノ)らが飛び出し、少し遅れて福島(JPCA・EVREUX)・三船(JPCA・ランドパウクレジット)らが先頭集団を追う。序盤戦の逃げであり、集団はまだ静観している。7周目には第2グループの二人も合流し、先頭集団は9人となる。その頃には集団とメイングループは2分から3分の差がついていた。1周のラップタイムは19分から20分程度で、いつもより1分くらい遅いペースである。どうしてだか今年は何の 카테고리でも例年より遅いラップを刻んでいた。メイングループからは西谷(東京・Gatta)・飯島(JPCA・ラパネロ)・大内(大阪・シマノ)・秋田(愛知・愛三)・石堂(広島)らが先頭集団を追走するが届かない。メイン集団はシマノレーシングが集団の頭でコントロールしているようにも見えるがその意図は良くわからない。先頭集団から宮沢が脱落し、10周目には日置と三浦がパンクをして遅れる。日置はそのまま落ちていくが、三浦は車輪交換後、先頭集団に復帰した。三浦は参加選手の中で3番目のベテラン選手だが、先頭集団をコントロールするばかりかグイグイ引いている。衰えを知らないタフな選手だ。ラップタイムは20分半ばまで落ち込むが、先頭集団から広瀬、三船、行成らが脱落して、先頭集団は田中、三浦、山本、福島



U23の先頭集団



エリートの前頭集団

人となる。後続とのタイム差は2分弱。残り2周となり、後続グループの急追が始まる。スレートバイクからのタイム差の掲示は1分を切り、50秒、25秒とその差が縮まっていることを選手に知らせ続ける。それを見た先頭集団は後続を待とうとする選手、なおかつ逃げ続けようとする選手とが足並みが揃わない。先頭集団からさらに福島が遅れ、最終周回残り3人は急追してきた広瀬(石川・日本舗道)、今西(京都・シマノ)、西村(京都・ナカガワ)、岡崎(JPCA・日本舗道)、真鍋(JPCA・ミヤタ)、渋谷(JPCA・ブリヂストン)、狩野、鈴木(共にJPCA・シマノ)の8人に飲み込まれ11人の集団となる。残り5kmを切った登りで山本がアタック、10秒程度の差で逃げ続ける。集団はシマノレーシングのメンバーがコントロールしている。若い山本に行けるところまで行か

せてみようというところか。集団では西村が積極的に先頭を引く姿が見られるが山本に届かない、残り1kmあたりで業を煮やした真鍋が勢いよく横に振りラインをはずしてアタックをする。山本が逃げ切れないこと判断したシマノのメンバーたちも加速する。残り500mで山本は力尽き集団にごぼう抜きされ、真鍋も失速し集団において行かれる。ゴール勝負は今シーズン好調の鈴木が岡崎、渋谷らスピードのある選手を押さえてトップでゴールした。

昨年ロードランキング1位の鈴木は嬉しい全日本初勝利。名実共に日本のロードチャンピオンとなった。

(高橋 真)

[ 競技結果 ]

男子エリート (180km)			
1	鈴木 真理	JPCA シェルシグ	4:56:58
2	岡崎 和也	JPCA 日本舗道	4:56:58
3	渋谷 淳一	JPCA ブリヂストン	4:56:59

4	今西 尚志	京都 シェルシグ	4:56:59
5	西村 拓也	京都 カガリFET	4:57:00
6	田中 光輝	愛知 愛三工業	4:57:01
7	広瀬 敏	石川 日本舗道	4:57:02
8	狩野 智也	JPCA シェルシグ	4:57:03
9	三浦 恭資	JPCA GIANT	4:57:06
10	真鍋 和幸	JPCA ミヤタ	4:57:15

女子 (84km)

1	沖 美穂	JPCA チム・チェロ	2:33:40
2	唐見実世子	石川 ビンボルト	2:35:12
3	大塚 歩	栃木 A+00	2:37:04
4	中村 珠藻	奈良 順天堂大学	2:38:16
5	村中恵美子	東京 村・ミヤリ	2:38:21
6	大塚 恵美	東京 明治大学	2:38:54
7	西 加南子	千葉 スターバード	2:41:14
8	福森 智子	三重 カガリFET	2:44:40
9	杉村 久美	岩手 スターバード	2:45:50
10	坂井田理沙	青森 八戸大学	2:45:54

男子ジュニア (120km)

1	小岩 大介	大分 日出陽谷高	3:21:22
2	長 義幸	和歌山 田辺高校	3:23:27
3	畑中 勇介	東京 昭和第一学園	3:23:29
4	村上 純平	山形 山形電波工	3:23:30
5	天沼 雅貴	北海道 尚志学園高	3:23:30
6	笹原 裕	山形 村山農業高	3:24:14
7	辻 善光	京都 北桑田高校	3:24:32
8	中島 康晴	福井 科学技術高	3:24:34
9	吉次 裕司	山口 多々良学園	3:24:34
10	小椋 康寛	岐阜 日本大学	3:25:04

男子U23 (144km)

1	西谷 泰治	広島 日本大学	4:00:44
2	別府 史之	神奈川 ブリヂストン	4:00:44
3	盛 一大	茨城 日本大学	4:00:45
4	品川 真寛	京都 ミヤタ	4:00:45
5	岩本竜太郎	広島 京都産業大	4:00:45
6	和野内公次	大阪 カガリFET	4:00:46
7	清水 良行	岡山 京都産業大	4:00:50
8	宮崎 景涼	神奈川 Eq.ASADA	4:00:50
9	清水 都貴	鹿児島 鹿屋体育大	4:02:19
10	井上 和郎	福井 BALBA R.	4:02:25



SHIMANO

勝つための選択



SPD  
SHIMANO PEDALING DYNAMICS

株式会社シマノ 〒590-8577 堺市老松町3丁77番地 「お客様相談窓口」 電話 072-243-2829  
当社の自転車部門の製品カタログご希望の方は、「カタログ希望」と明記し、300円切手同封の上、  
〒590-0944 堺市柳屋町東1-1-1「シマノクラブPRセンター」宛にご郵送下さい。  
シマノ自転車製品は、インターネットホームページ「http://cycle.shimano.co.jp」でもご覧いただけます。

乗車したまま走りきるコースレイアウトがマウンテンバイクレースの世界的な流れになっています。シマノはよりペダリングを重視したSPDシューズ&ペダルをそろえています。

高強度カーボンソール搭載  
軽量シューズ

SH-M220

¥17,800

標準小売価格(税別)



泥ハケ性能  
ステップイン&アウト  
フィリングを  
大幅に向上

PD-M959

¥13,700

標準小売価格(税別)



# 2002年 JOC ジュニアオリンピックカップ

今年で10回目を数えるJOCジュニアオリンピックカップが、7月13・14日の二日間、来年のインターハイ「長崎ゆめ総体」の会場でもある佐世保競輪場(周長400m)にて開催された。2日間とも天候に恵まれ無事競技は終了した。

女子500mTTでは篠崎新純(千葉)が、ジュニア日本記録を更新する37秒824のタイムで優勝した。荒削りながらも着実に記録を更新し、今後の更なる成長が期待される。

男子では、北津留翼(福岡)が1kmTTで1分06秒490で大会新をマークし、スプリントではとても高校二年生とは思えない落ち着いたレース運びに貫禄さえ感じさせる将来の大物振りを見せた。

最優秀競技者に与えられるJOCジュニアオリンピックカップは、男女とも2種目(TT・スプリント)で優勝した北津留翼と篠崎新純が受賞した。

なお、今回昭和44年長崎国体以来33年振りに全国大会を開催した地元長崎県車連や関係者皆様のご尽力に感謝申し上げ、世界に羽ばたくジュニア選手の未来の活躍に大いに期待したい。

## [ 競技結果 ]

### 男子1kmタイムトライアル



- 1 北津留 翼 福岡 豊国学園高 1:06.490
- 2 橋本 強 愛媛 松山聖陵高 1:07.448
- 3 白井 昌巨 岐阜 岐南工業高 1:08.341
- 4 甲斐 康昭 群馬 前橋工業高 1:09.226
- 5 須賀 和彦 茨城 取手第一高 1:09.251
- 6 屋良 朝春 沖縄 日本大学 1:09.616

### 男子スプリント



- 1 北津留 翼 福岡 豊国学園高校
- 2 疋田雄一朗 大分 日出陽谷高校
- 3 前田 義和 鹿嶋 鹿児島実業高校
- 4 須賀 和彦 茨城 取手第一高校
- 5 栗原 亮 福岡 久工大付属高校
- 6 藤木 裕 京都 花園高校

### 男子3km個人追抜競走



- 1 白井 昌巨 岐阜 岐南工業高 3:43.596
- 2 青木 康貴 岐阜 岐南工業高 3:45.163
- 3 金澤 竜二 福島 学法石川高 3:39.628
- 4 三瀧 光誠 山形 村山農業高 3:41.237
- 5 前田 雅則 和歌山 和歌山北高 3:45.922
- 6 片山 智晴 岡山 法政大学 3:45.997

### 男子500mタイムトライアル



- 1 中島 康晴 福井 科学技術高校 39p
- 2 身崎 琢磨 宮城 東北高校 34p
- 3 小岩 大介 大分 日出陽谷高校 20p
- 4 松村 光浩 和歌山 紀北工業高校 11p
- 5 三瀧 光誠 山形 村山農業高校 8p
- 6 坂本 昌宏 青森 八戸工業高校 6p

### 女子500mタイムトライアル



- 1 篠崎 新純 千葉 千葉経大付高 37.824
- 2 越後 祥子 青森 八戸工業高校 40.412
- 3 伊東 静香 宮城 古川工業高校 41.058
- 4 埋田 麻衣 大分 別府商業高校 41.631
- 5 永田 萌子 大分 別府商業高校 42.697
- 6 本田 雅子 熊本 千原台高校 42.770

### 女子スプリント



- 1 篠崎 新純 千葉 千葉経済大学付属高
- 2 埋田 麻衣 大分 別府商業高校
- 3 伊東 静香 宮城 古川工業高校
- 4 須藤 朋美 福島 岩瀬農業高校
- 5 栗原 松江 埼玉 理研化機工業

### 女子2km個人追抜競走



- 1 松尾 亜美 大分 日出陽谷高 2:44.806
- 2 永田 萌子 大分 別府商業高 2:48.980
- 3 越後 祥子 青森 八戸工業高 2:50.037
- 4 須藤 朋美 福島 岩瀬農業高 2:56.163
- 5 栗原 松江 埼玉 理研化機工 2:54.750
- 6 中尾ひびき 島根 出雲工業高 2:55.174

### JOCカップ 受賞者

男子 北津留 翼 福岡 豊国学園高校  
女子 篠崎 新純 千葉 千葉経済大学付属高



## ジュニアオリンピックカップ過去の受賞者 第1回 1993年

太田 真一(埼玉)・松井 美樹(石川)

## 第2回 1994年

小野 俊之(大分)・須藤のり子(福島)

## 第3回 1995年

西 徹(石川)・菊池 美保(群馬)

## 第4回 1996年

伊勢崎彰大(千葉)・太刀川麻也(千葉)

## 第5回 1997年

真鍋 伸也(香川)・太刀川麻也(千葉)

## 第6回 1998年

内田 慶(栃木)・坂井田理次(青森)

## 第7回 1999年

内田 慶(栃木)・高橋 祐嘉(千葉)

## 第8回 2000年

三上 佳孝(千葉)・中村 珠藻(奈良)

## 第9回 2001年

高島 豪(埼玉)・遠藤 友子(大分)



## 日本新記録

500m

女子ジュニア

37秒824

篠崎 新純(千葉)

2002/7/14

長崎・佐世保競輪場

# 2002 年全日本選手権個人タイムトライアル大潟大会

6月22日～23日秋田県・大潟村ソーラースポーツラインにて、2002年全日本選手権個人タイム・トライアル・ロードレース大潟大会が開催された。

初日は男子ジュニアと女子の部が行われ、男子ジュニアは池田丈志(奈良・昨年2位)が優勝。女子は大塚歩(栃木)が二年振り3度目の優勝を飾った。

翌日は男子U23と男子エリートが行われ、男子U23は山本敬純(大阪・昨年3位)が2位辻浦圭一(奈良・テストタッチ)に僅差で競り勝った。男子エリートはアジアチャンピオンの岡崎和也が2位の狩野智也(JPCA・シマノレーシングチーム)に30秒の差をつけて優勝した。

## [ 競技結果 ]

### 男子エリート ( 31km )

- 岡崎 和也 JPCA 日本舗道 40:17.904
- 狩野 智也 JPCA シマノレーシング 40:47.392
- 柿沼 章 JPCA GIANT 40:54.382



- 飯島 誠 JPCA スズパ 和 40:56.938
- 真鍋 和幸 JPCA ミタ・スバル 41:24.593
- 坂口 博 愛知 愛三工業 42:11.572
- 日置 大介 兵庫 GIANT 42:11.929
- 水谷 壮宏 JPCA ブリヂストン 42:17.598
- 渋谷 淳一 JPCA ブリヂストン 42:22.278
- 広瀬 佳正 JPCA ブリヂストン 42:29.615

### 男子U23 ( 31km )

- 山本 敬純 大阪 立命館大 43:40.580
- 辻浦 圭一 奈良 テスタッチR. 43:41.762
- 盛 一大 茨城 日本大学 44:31.146



- 辻 龍一 大阪 京都産大 44:39.015
- 郡山 善貴 岐阜 愛三工業 44:51.712
- 平井 信昭 兵庫 C.ANGLE 44:59.850
- 渡邊 哲平 京都 京都大学 45:05.723
- 岩本竜太郎 広島 京都産大 45:28.066
- 小倉 英治 香川 鹿屋体大 45:30.922
- 高野 淳 神奈川 イキッパツ 45:35.969

### 男子ジュニア ( 20km )

- 池田 丈志 奈良 北大和高校 29:11.574
- 天沼 雅貴 北海道 尚志学園 29:23.695
- 大村 寛 鹿児島 鹿児島実 30:21.690



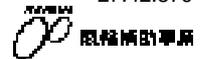
- 長沼 隆行 埼玉 小松原高 30:47.612
- 櫻井 透 神奈川 立命館大 30:49.597
- 渡辺 将大 群馬 前橋育英 30:57.536
- 山田 賢 神奈川 向上高校 31:01.548
- 柴田 昌人 神奈川 向上高校 32:11.558
- 瀧口 晃広 奈良 北大和高校 32:16.422
- 川野 公志 鹿児島 鹿児島実 32:25.046

### 女子 ( 15km )

- 大塚 歩 栃木 A+00 22:07.050
- 唐見実世子 石川 ビー・スバル 22:14.973
- 杉村 久美 岩手 スズパ 和 23:13.568



- 松永 舞美 香川 法政大学 24:12.497
- 中村 珠藻 奈良 順天堂大 24:18.566
- 大塚 恵美 東京 明治大学 24:39.408
- 西 加南子 千葉 スズパ 和 24:41.066
- 坂井田理沙 青森 八戸大学 25:01.922
- 前川 康子 奈良 明治大学 26:29.857
- 小高セツコ 埼玉 27:42.879



## 第 41 回学生選手権チームロードレース 2002 年全日本学生個人ロードタイムトライアル



6月22日～23日全日本選手権と同会場で開催された。22日のチームロードレースは23チームが出場。日本大学が優勝し、本大会5連覇を果たした。2位は京都産業大学、3位は中央大学。

また、23日の個人ロードタイムトライアルでは、明珍多久雄(日本大学)が2年連続優勝の清水都貴(鹿屋体育大学)に25秒の差を付けて優勝した。3位は高島豪(中央大学)。女子の部では、中村珠

藻が昨年に続き二連覇を達成。2位は許斐真由子(このみまゆこ)、3位は松永舞美(法政大学)であった。

## [ 競技結果 ]

### チーム ( 93.768km )

- 日本大学 森・圓谷・西谷・盛 2:07:45.06
- 京都産業大 小林・清水・岩本・辻 2:10:05.36
- 中央大学 水尾・高島・大野・小林 2:10:49.90
- 鹿屋体育大 小倉・清水・大澤・安藤 2:11:52.60
- 京都大学 西村・矢澤・渡邊・松井 2:14:00.03
- 法政大学 石田・鈴木・佐野・土井 2:14:18.53
- 早稲田大学 浅野・江口・平林・土井 2:14:23.68
- 立命館大学 上田・向川尚・山本・柏原 2:15:47.84
- 東北学院大 田辺・小倉・小池・石崎 2:16:07.50
- 中京大学 浦門・三浦・向川謙・葛谷 2:18:34.92

### 男子個人タイムトライアル ( 31.256km )

- 明珍多久雄 日本大学 42:05.653
- 清水 都貴 鹿屋体育大学 42:30.259
- 高島 豪 中央大学 42:37.209
- 伊藤 太一 日本大学 42:59.273
- 親川 泰典 明治大学 43:11.516
- 西谷 泰治 日本大学 43:12.555
- 小笠原 豪 日本大学 43:19.692
- 石田 宏樹 法政大学 43:32.842
- 黒木 裕介 法政大学 43:34.750
- 吉井 淳 関西大学 44:06.407

### 女子個人タイムトライアル ( 15km )

- 中村 珠藻 順天堂大学 23:17.852
- 許斐真由子 鹿屋体育大学 23:31.960
- 松永 舞美 法政大学 23:46.947
- 大塚 恵美 明治大学 23:56.298
- 坂井田理沙 八戸大学 23:59.943
- 前川 康子 明治大学 24:54.767
- 栗原 松江 筑波大坂戸高校 25:18.505
- 小野 翔子 明治大学 25:35.396
- 遠山 恵 順天堂大学 25:35.997
- 玉城 さち 鹿屋体育大学 25:37.804





## アテネ・オリンピック競技大会参加資格制度 2002年4月版

### トラック競技

- 種目**(12)男子(8) チームスプリント\*・スプリント・1kmタイムトライアル・ケイリン・団体追抜競走\*  
個人追抜競走・マディソン\*・ポイントレース(\*チーム競技)
- 女子(4) スプリント・500mタイムトライアル・個人追抜競走・ポイントレース
- 割当て競技者数** 男子 153名 女子 35名 合計 188名
- NOCあたり最大数** 個人競技: NOCは、各個人競技に最多2名をエントリーできる。ただし、ポイントレースは1名のみとする。  
チーム競技: NOCは、各チーム競技に最多1チームをエントリーできる  
トラック競技におけるNOCごとの最多合計数は、男子11名・女子3名
- 参加枠の配分** 参加枠はNOCに帰属する

### 男子 153名

#### 2004年トラック世界選手権大会(112名)

- チームスプリント: 1~10位のチームがそのNOCに1枠を与える(10チーム×3名=30名)
- スプリント及び1km TT: チームスプリントに参加資格を得た各チームから1名+スプリントおよび1km TTの1~4位の競技者がそのNOCに1枠を与える(追加8名)
- ケイリン: チーム・スプリントに参加資格を得た各チームから1名+ケイリンの1~6位の競技者がそのNOCに1枠を与える(追加6名)
- 団体追抜競走: 1~8位のチームがそのNOCに1枠を与える(8チーム×5名=40名)
- 個人追抜競走: 団体追抜競走に参加資格を得た各チームから1名+個人追抜競走の1~4位の競技者がそのNOCに1枠を与える(追加4名)
- マディソン: 1~10位のチームがそのNOCに1枠を与える(10チーム×2名=20名)
- ポイントレース: マディソンに参加資格を得た各チームから1競技者+ポイント・レースの1~4位の競技者がそのNOCに1枠を与える(追加4名)

#### 2004年トラック・ワールドカップ(31名)

各種目の上位2名/チームがそのNOCに1枠を与える。ケイリンにおいては上位3名がそのNOCに1枠を与える。

#### 2003年"B"トラック世界選手権大会(10名)

各個人種目(スプリント、1km TT、ケイリン、ポイント・レース、個人追抜競走)の上位2名がそのNOCに1枠を与える。(5種目×2名)

#### 三者委員会招待枠

自転車競技において三者委員会招待枠としては参加枠は留保されない。しかし、NOCの請求が認定基準に合致する場合、IOCとUCIの合意下に未行使割当てに充当される。

### 女子 35名

#### 2004年トラック世界選手権大会(26名)

- スプリント: 1~10位の競技者がそのNOCに1枠を与える(10名)
- 500km TT: スプリントに参加資格を得た10名+500km TTの1~2位の競技者がそのNOCに1枠を与える(追加2名)
- 個人追抜競走: 個人追抜競走の1~10位の競技者がそのNOCに1枠を与える(追加10名)
- ポイントレース: 個人追抜競走の1~10位の競技者+ポイント・レースの1~4位の競技者がそのNOCに1枠を与える(追加4名)

#### 2004年トラック・ワールドカップ(5名)

スプリント、個人追抜競走及び500m TT: 各種目1位競技者がそのNOCに1枠を与える。(3種目×1名)

ポイントレース: 1~2位の競技者がそのNOCに1枠を与える(追加2名)

#### 2003年"B"トラック世界選手権大会(4名)

各種目の1位競技者がそのNOCに1枠を与える。(4種目×1名)

#### 三者委員会招待枠

自転車競技において三者委員会招待枠としては参加枠は留保されない。しかし、NOCの請求が認定基準に合致する場合、IOCとUCIの合意下に未行使割当てに充当される。

**ロード競技**

種目(4)	男子(2)	集団スタート競技・タイムトライアル競技
	女子(2)	集団スタート競技・タイムトライアル競技
割当て競技者数	男子	145名
	女子	67名
	合計	212名
NOCあたり最大数	集団スタート競技:	UCI国別ランキングにより参加枠を得たNOCは、男子最多5名、女子最多3名をエントリーできる。その他、NOCは性別ごと最多2名をエントリーできる
	タイムトライアル競技:	NOCごと、男子2名、女子2名が参加枠を得る
参加枠の配分		参加枠はNOCに帰属する

**集団スタート競技 - 男子 145名****2004年4月30日付 UCI国別ランキング(130名)**

1～15位のNOCは5参加枠を得る(75名)

16～25位のNOCは4参加枠を得る(40名)

26～30位のNOCは3参加枠を得る(15名)

31位以下のNOCで300位以内の競技者を擁するものは1参加枠を得る。これらの枠は、ロードの割当て数を尊重するために、26～30位のNOCの枠から割り当てられる。

**2003年"B"世界選手権大会(15名)**

1～15位の競技者がそのNOCに1枠を与える

**三者委員会招待枠**

自転車競技において三者委員会招待枠としては参加枠は留保されない。しかし、NOCの請求が認定基準に合致する場合、IOCとUCIの合意下に未行使割当てに充当される。

**集団スタート競技 - 女子 67名****2004年4月30日付 UCI国別ランキング(58名)**

1～16位のNOCは3参加枠を得る(48名)

17～21位のNOCは2参加枠を得る(10名)

22位以下のNOCで100位以内の競技者を擁するものは1参加枠を得る。これらの枠は、ロードの割当て数を尊重するために、17～21位のNOCの枠から割り当てられる。

**2003年"B"世界選手権(9名)**

1～9位の競技者がそのNOCに1枠を与える

**三者委員会招待枠**

自転車競技において三者委員会招待枠としては参加枠は留保されない。しかし、NOCの請求が認定基準に合致する場合、IOCとUCIの合意下に未行使割当てに充当される。

**タイムトライアル競技 - 男子 40名、女子 25名**

タイムトライアルの枠は自転車競技の割当て合計に含まれ、既にロード、トラック、マウンテンバイクの多項目で参加枠を得た競技者により充当される。

**2004年4月30日付 UCI国別ランキング(男子 25名、女子 15名)**

男子は1～25位、女子は1～15位のNOCが各1名の参加枠を得る

**2003年世界選手権大会(男子 15名、女子 10名)**

エリート・タイムトライアル競技において男子は15位まで、女子は10位までが参加枠を得る

**三者委員会招待枠**

自転車競技において三者委員会招待枠としては参加枠は留保されない。しかし、NOCの請求が認定基準に合致する場合、IOCとUCIの合意下に未行使割当てに充当される。

## マウンテンバイク競技

種目(2)	男子(1)	クロスカントリー		
	女子(1)	クロスカントリー		
割当て競技者数	男子	50名	女子	30名
	合計	80名		
参加枠の配分	参加枠はNOCに帰属する			

### 男子 50名

#### 2003年12月31日付 UCI国別ランキング(42名)

- 1～5位のNOCは3参加枠を得る(15名)
- 6～15位のNOCは2参加枠を得る(20名)
- 16～22位のNOCは1参加枠を得る(7名)
- 23位以下のNOCで50位以内の競技者を擁するものは1参加枠を得る。これらの枠は、マウンテンバイクの割当て数を尊重するために、6～15位のNOCの枠から割り当てられる。

#### 大陸選手権大会(8名)

各大陸選手権大会(ヨーロッパを除く)の上位2名がそのNOCに1枠を与える(4大陸×2名)

#### 三者委員会招待枠

自転車競技において三者委員会招待枠としては参加枠は留保されない。しかし、NOCの請求が認定基準に合致する場合、IOCとUCIの合意下に未行使割当てに充当される。

### 女子 30名

#### 2003年12月31日付 UCI国別ランキング(26名)

- 1～3位のNOCは3参加枠を得る(9名)
- 4～9位のNOCは2参加枠を得る(12名)
- 10～14位のNOCは1参加枠を得る(5名)
- 23位以下のNOCで30位以内の競技者を擁するものは1参加枠を得る。これらの枠は、マウンテンバイクの割当て数を尊重するために、4～9位のNOCの枠から割り当てられる。

#### 大陸選手権大会(4名)

各大陸選手権大会(ヨーロッパを除く)の上位1名がそのNOCに1枠を与える(4大陸×1名)

#### 三者委員会招待枠

自転車競技において三者委員会招待枠としては参加枠は留保されない。しかし、NOCの請求が認定基準に合致する場合、IOCとUCIの合意下に未行使割当てに充当される。

革新的なオーダーシステム

**システムU**

**登場!!**

色やデザインの自由度が高いシステムで、スタイルからも差をつけよう。

**国体向け先行受注開始!**

従来の制作方法を大きく変えるシステムを採用し、フルオープン・ジッパー採用のバイクジャージが、使用する色数に関係なく18,000円(10枚)より作ることができます。素材には、吸汗速乾性能に抗菌防臭加工を加えた「ルミエース®」(株)ユニチカ製を採用しています。低価格でありながら、機能面そしてカスタムオーダーシステムの醍醐味と楽しさを体感していただける究極のシステム、もう間もなく登場です。

**プリント版代不要!**

**5枚よりオーダーが可能!**

**4色以上の多色プリントが可能!**

**約60日でお届け!**

オンラインショップ

<http://www.pearlizumi.co.jp> <http://shop.goo.ne.jp/store/ip-pearl> 株式会社パールイズミ

\*詳しくは弊社特品課(電話03-3633-5461、E-mail:custom@pearlizumi.co.jp)までお問い合わせください。

2002 ロード・トラック・ランキング (6月現在)

[ロードレース]

男子エリート・ロードレース

E	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	鈴木 真理	JPCA	E	P	3,828.3
2	岡崎 和也	JPCA	E	P	2,416.7
3	狩野 智也	JPCA	E	P	2,307.0
4	今西 尚志	京都	E	m	1,821.4
5	新保 光起	JPCA	E	P	1,755.3
6	飯島 誠	JPCA	E	P	1,634.3
7	真鍋 和幸	JPCA	E	P	1,628.0
8	広瀬 敏	石川	E	P	1,452.6
9	福島 晋一	JPCA	E	P	1,256.3
10	田中 光輝	愛知	E	m	1,244.7
11	行成 秀人	岡山	E	P	1,133.3
12	渋谷 淳一	JPCA	E	P	1,129.5
13	柿沼 章	栃木	E	m	912.8
14	飯島 規之	JPCA	E	P	800.0
15	大内 薫	大阪	E	E	743.1
16	西村 拓也	京都	E	P	741.0
17	水谷 壮宏	JPCA	E	P	721.0
18	山本 雅道	神奈川	E	P	701.6
19	鈴木 新史	JPCA	E	P	674.9
20	榎井 幹雄	JPCA	E	P	600.0
21	日置 大介	兵庫	E	P	579.5
22	矢澤 真幸	京都	E	P	536.2
23	中井 健二	JPCA	E	P	480.0
24	江下 健太郎	愛知	E	P	472.3
25	阿部 良之	JPCA	E	P	471.8
26	別府 匠	神奈川	E	P	451.5
27	坂口 博	愛知	E	P	442.1
28	児玉 利文	JPCA	E	P	440.0
29	西谷 雅史	東京	E	m	438.0
30	飯田 輝男	茨城	E	P	424.0
31	鈴木 雷太	長野	E	P	415.1
32	三浦 恭資	JPCA	E	P	408.0
33	宇根 秀俊	JPCA	E	P	400.0
34	岡田 哲也	JPCA	E	P	376.8
35	中川 康二郎	茨城	E	m	360.0
35	武井 大介	JPCA	E	P	360.0
37	広瀬 学	石川	E	m	358.0
38	高橋 祐介	栃木	E	P	343.0
39	廣瀬 佳正	JPCA	E	P	335.0
40	佐野 多喜男	JPCA	E	P	320.0
41	秋田 謙	愛知	E	P	315.8
42	内田 新二	JPCA	E	P	280.0
43	米山 一輝	東京	E	P	278.7
44	藤野 智一	JPCA	E	P	260.0
45	浅野 浩一	東京	E	P	248.0
45	江本 泰輔	東京	E	P	248.0
47	山根 泰道	岡山	E	P	240.0
48	野口 忍	京都	E	P	225.5
49	武内 誠	愛知	E	P	208.0
50	福島 康司	JPCA	E	P	200.0
50	白木 正彦	JPCA	E	P	200.0

男子U23・ロードレース

U	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	西谷 泰治	広島	U	P	1,384.5
2	岩本 竜太郎	広島	U	P	1,285.0
3	盛 一大	茨城	U	P	1,233.4
4	和野内 公次	大阪	U	P	1,014.1
5	品川 真寛	京都	U	P	1,011.0
6	山本 敬純	大阪	U	P	859.4
7	石田 哲也	愛知	U	P	812.0
8	吉井 淳	広島	U	P	779.3
9	清水 良行	岡山	U	P	778.6
10	辻浦 圭一	奈良	U	P	777.5
11	河野 通明	京都	U	P	764.1
12	小林 誠	滋賀	U	P	761.4
13	辻 貴光	京都	U	P	735.8
14	園谷 崇	福岡	U	P	725.6

U	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
15	小野寺 孝太	岩手	U	P	682.0
16	上田 誠	奈良	U	P	669.9
17	内山 靖樹	大阪	U	P	653.8
18	明珍 多久雄	福島	U	P	643.2
19	渡邊 哲平	京都	U	P	635.9
20	別府 史之	神奈川	U	P	600.0
21	鈴木 謙一	静岡	U	P	552.5
22	普久原 奨	沖縄	U	P	538.2
23	辻 龍一	大阪	U	P	517.8
24	三浦 勇一	京都	U	P	498.5
25	津末 浩平	大分	U	P	454.0
26	清水 都貴	鹿児島	U	P	452.0
27	平井 信昭	兵庫	U	P	440.5
28	向川 尚樹	大阪	U	P	418.6
29	浅野 英明	大阪	U	P	406.2
30	管 洋介	東京	U	P	395.5

男子ジュニア・ロードレース

J	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	池田 丈志	奈良	J	P	1,015.0
2	天沼 雅貴	北海道	J	P	652.5
3	西村 光太	三重	J	u	600.0
4	村上 純平	山形	J	P	560.0
5	小岩 大介	大分	J	P	500.0
6	辻 善光	京都	J	P	446.0
7	小野 哲裕	神奈川	J	P	445.0
8	長 義幸	和歌山	J	P	421.0
9	畑中 勇介	東京	J	P	375.0
10	櫻井 透	神奈川	J	s	336.2
11	柿本 勇介	大分	J	P	315.0
12	谷垣 雄基	京都	J	P	310.0
13	長沼 隆行	埼玉	J	P	288.5
14	笹原 裕	山形	J	P	269.0
15	山田 賢	神奈川	J	P	258.0
16	大村 寛	鹿児島	J	P	257.0
17	立里 匡道	山形	J	P	255.0
18	島田 真琴	東京	J	u	235.0
19	小椋 康寛	岐阜	J	s	225.8
20	吉次 裕司	山口	J	P	222.0
21	中島 康晴	福井	J	P	205.0
22	内田 翔太	大阪	J	P	190.0
23	池田 直道	兵庫	J	P	178.0
24	向川 訓司	大阪	J	s	175.2
25	松村 光浩	和歌山	J	P	175.0
26	渡辺 将大	群馬	J	P	165.5
27	児玉 規英	東京	J	P	155.0
28	瀧口 晃広	奈良	J	P	151.0
29	川野 公志	鹿児島	J	P	147.5
30	宮腰 圭祐	福井	J	P	136.0

女子・ロードレース

F	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	中村 珠藻	奈良	J	P	2,237.5
2	大塚 恵美	東京	U	P	1,749.0
3	西 加南子	千葉	E	P	1,272.5
4	村中 恵美子	東京	E	P	1,242.0
5	唐見 美世子	石川	E	P	1,155.0
6	大塚 歩	栃木	E	P	1,140.0
7	小野山 恵美	愛媛	E	P	1,022.5
8	許斐 真由子	鹿児島	U	P	1,010.0
9	沖 美穂	JPCA	E	P	1,000.0
10	杉村 久美	岩手	E	P	894.0
11	前川 康子	奈良	U	P	843.6
12	坂井 理沙	青森	U	P	775.0
13	小高 セツコ	埼玉	E	P	741.4
14	福森 智子	三重	E	P	620.0
15	塩原 桂子	東京	E	P	547.0
16	永田 萌子	大分	J	P	540.0
17	松永 舞美	香川	U	P	533.0
18	斎藤 綾	秋田	U	P	487.0
19	林 佐知子	東京	E	P	445.0
20	福井 万裕美	静岡	U	P	436.0
21	宮崎 杏菜	大分	J	P	390.0

F	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
22	益田 聖子	福島	U	P	298.0
23	岡田 未来	京都	J	P	290.0
24	木村 春恵	青森	U	P	240.0
24	谷村 祐美子	奈良	J	P	240.0
26	石川 理久子	群馬	U	P	237.6
27	小谷 翠	愛媛	E	P	236.5
28	玉城 さち	沖縄	U	P	236.0
29	篠崎 新純	千葉	J	P	225.0
30	須藤 朋美	福島	J	P	221.4

[トラックレース]

男子エリート・タイムトライアル

TT	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	在本 直樹	岡山	E	P	1,140.0
2	伏見 俊昭	JPCA	E	P	840.0
3	篠原 忍	群馬	U	P	672.0
3	稲村 成浩	JPCA	E	P	672.0
5	村上 義弘	JPCA	E	P	546.0
6	竹沢 浩司	富山	U	P	420.0
6	荒井 崇博	JPCA	E	P	420.0
8	鈴木 英介	静岡	U	P	360.4
9	大村 慶二	東京	E	P	344.2
10	濱田 浩司	JPCA	E	P	319.2
10	福井 敬司	鳥取	E	m	319.2

男子エリート・スプリント

SP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	湯原 正行	長野	E	P	1,027.0
2	青木 亮太	群馬	U	P	986.0
3	前反 祐一郎	JPCA	E	P	840.0
4	金子 貴志	JPCA	E	P	672.0
5	上吹 直樹	JPCA	E	P	546.0
6	布居 寛幸	JPCA	E	P	420.0
7	吉松 直人	高知	U	P	319.2
8	朝倉 佳弘	東京	U	P	296.0
9	櫻山 新太郎	福岡	U	P	200.0
9	小堺 浩二	石川	U	P	200.0

男子エリート・個人追抜競走

IP	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	黒木 裕介	宮崎	U	P	1,040.0
2	浦門 義人	兵庫	E	P	872.0
3	佐々木 孝司	JPCA	E	P	840.0
4	飯島 規之	JPCA	E	P	672.0
5	伊藤 太一	山梨	U	P	550.0
6	諸橋 愛	JPCA	E	P	546.0
7	高橋 栄光	岩手	E	P	430.0
8	久保田 奉文	JPCA	E	P	420.0
9	吉野 鉄平	広島	U	P	395.2
10	明珍 多久雄	福島	U	P	319.2
10	野井 正紀	JPCA	E	P	319.2

男子エリート・ポイントレース

PR	氏名	所属	Ca.	Cl.	Point
1	大塚 英伸	JPCA	E	P	896.0
2	西谷 泰治	広島	U	P	840.0
3	窓場 加乃敏	JPCA	E	P	672.0
4	高島 豪	埼玉	U	P	622.0
5	鰐淵 正利	JPCA	E	P	546.0
6	飯島 誠	JPCA	E	P	500.0
7	山中 猛	JPCA	E	P	420.0
8	大矢 将大	JPCA	E	P	319.2
9	高橋 栄光	岩手	U	P	280.0
10	柴田 祐也	岐阜	U	P	235.2
10	岩本 和也	石川	E	P	235.2



# 競技大会 結果

大会名・チーム名等については略して記載

JCF/MTBｼﾞﾊﾞﾝｼﾝｼﾞｰｽﾞ 三瓶山大会  
J1 DH#2/XC#5  
(7/6-7 鳥根・三瓶温泉ｽﾀｰﾄﾞ)

DH男子E1-1 (2.2km)

- |    |       |     |           |         |
|----|-------|-----|-----------|---------|
| 1  | 塚本 岳  | 長野  | MX/MONG   | 2:51.77 |
| 2  | 向原 健司 | 大阪  | KUWAHARA  | 2:51.98 |
| 3  | 丸山 弘起 | 長野  | GT japan  | 2:52.15 |
| 4  | 今田 大三 | 愛知  | MPR       | 2:53.07 |
| 5  | 竹本 将史 | 埼玉  | ﾌﾞﾘｯｼﾞｽﾄﾝ | 2:53.85 |
| 6  | 金子 大作 | 北海道 | YRS-ANC   | 2:54.51 |
| 7  | 河合 暁延 | 愛知  | mom&pop's | 2:54.74 |
| 8  | 岩瀬 信彦 | 神奈川 | ix/M.Y.   | 2:55.78 |
| 9  | 丸山由紀夫 | 愛知  | MOM&pop's | 2:55.83 |
| 10 | 河合 良紀 | 三重  | ｶﾄﾘｰﾅｯﾂ   | 2:56.22 |

DH女子E1-1 (2.2km)

- |   |       |     |          |         |
|---|-------|-----|----------|---------|
| 1 | 増田 まみ | 千葉  | X-TRAIL  | 3:15.48 |
| 2 | 猪俣 浩子 | 神奈川 | FOES     | 3:19.64 |
| 3 | 水庫 士実 | 長野  | mom&pop  | 3:22.32 |
| 4 | 福本 弘佳 | 兵庫  | TEAM輪娛   | 3:30.70 |
| 5 | 杉山 美佐 | 静岡  | DD BIKES | 3:36.38 |
| 6 | 池田 恭子 | 東京  | FFC/HOT  | 3:40.10 |
| 7 | 久家 麻妃 | 岐阜  | DD BIKES | 3:42.20 |
| 8 | 服部 良子 | 神奈川 | 風魔横浜     | 3:42.59 |

- |    |       |    |           |         |
|----|-------|----|-----------|---------|
| 9  | 大松 幸代 | 福岡 | ﾀﾞｰﾄﾞﾌﾞﾗｲ | 4:02.97 |
| 10 | 藤中 治子 | 京都 | KUWAHARA  | 4:39.97 |

XC男子E1-1 (44.1km)

- |    |             |     |            |            |
|----|-------------|-----|------------|------------|
| 1  | 竹谷 賢二       | 千葉  | FORD/SP2   | 09:04.46   |
| 2  | 野口 忍        | 京都  | TREK J.    | 2:11:44.64 |
| 3  | 白石 真悟       | 大阪  | 大阪大学       | 2:13:11.98 |
| 4  | 山口 孝徳       | 長野  | MX/MONG2   | 14:06.37   |
| 5  | 色川 浩樹       | 茨城  | GIANT J.   | 2:18:10.83 |
| 6  | 後藤 清作       | 長野  | GIANT J.   | 2:18:17.79 |
| 7  | 鈴木 良則       | 神奈川 | XARU/T     | 2:18:20.38 |
| 8  | CHENG CHEUK | HKG | Hong Kong2 | 19:21.84   |
| 9  | 佐藤 貴巳       | 長野  | Jamis      | 2:20:37.68 |
| 10 | 門田 基志       | 愛媛  | 焼鳥山鳥       | 2:21:56.98 |

XC女子E1-1 (25.2km)

- |    |       |     |             |            |
|----|-------|-----|-------------|------------|
| 1  | 真下 正美 | 神奈川 | SY-Nak      | 1:32:46.67 |
| 2  | 深井 薫  | 大阪  | FUN RIDE    | 1:36:04.52 |
| 3  | 酒井 真清 | 大阪  | Be-One      | 1:38:38.10 |
| 4  | 山口麻理子 | 福井  | BALBA       | 1:42:02.78 |
| 5  | 田近 郁美 | 岐阜  | GOD HILL    | 1:43:42.10 |
| 6  | 大上美夕紀 | 愛媛  | 走れ馬鹿犬       | 1:45:15.44 |
| 7  | 狩俣けい子 | 大阪  | ｶﾞﾝﾊﾞﾝ      | 1:48:31.70 |
| 8  | 東 陽子  | 京都  | Team Johnny | -1lap      |
| 9  | 伊藤真里子 | 京都  | ﾁｰﾑ ｽﾄﾗﾝ    | -1lap      |
| 10 | 森田 弘子 | 広島  |             | -2laps     |

JCF/MTBｼﾞﾊﾞﾝｼﾝｼﾞｰｽﾞ 田沢湖大会  
J1 DH#3/XC#6

(7/13-14 秋田・田沢湖町)

DH男子E1-1 (1.8km)

- |   |       |    |           |          |
|---|-------|----|-----------|----------|
| 1 | 内嶋 亮  | 東京 | A&F SANT  | 3:03.486 |
| 2 | 塚本 岳  | 埼玉 | MX/MONG   | 3:03.838 |
| 3 | 竹本 将史 | 埼玉 | ﾌﾞﾘｯｼﾞｽﾄﾝ | 3:04.427 |
| 4 | 丸山 弘起 | 長野 | GT Japan  | 3:05.555 |
| 5 | 安達 靖  | 大阪 | cannonda  | 3:06.375 |

- |    |       |     |           |          |
|----|-------|-----|-----------|----------|
| 6  | 鍋島 健一 | 福岡  | ﾌﾞﾘｯｼﾞｽﾄﾝ | 3:07.137 |
| 7  | 岩瀬 信彦 | 神奈川 | ix/M.Y.   | 3:07.147 |
| 8  | 大島 礼治 | 兵庫  | GIANT J.  | 3:07.537 |
| 9  | 和田 良平 | 兵庫  | TREK      | 3:09.132 |
| 10 | 河合 良紀 | 三重  | ｶﾄﾘｰﾅｯﾂ   | 3:10.964 |

DH女子E1-1 (1.8km)

- |    |        |     |           |          |
|----|--------|-----|-----------|----------|
| 1  | 渡辺キャリー | 長野  | Canondale | 3:31.888 |
| 2  | 増田 まみ  | 埼玉  | X-TRAIL   | 3:33.658 |
| 3  | 池田 恭子  | 東京  | FFC/HOTC  | 3:41.028 |
| 4  | 水庫 士実  | 長野  | mom&pop   | 3:42.348 |
| 5  | 猪俣 浩子  | 神奈川 | FOES CRE  | 3:42.569 |
| 6  | 藤中 治子  | 京都  | KUWAHARA  | 3:54.110 |
| 7  | 鴨下 美穂  | 神奈川 | DD BIKES  | 3:54.507 |
| 8  | 福本 弘佳  | 兵庫  | TEAM輪娛    | 3:56.986 |
| 9  | 松田 恵美  | 東京  | MX/MONG   | 4:07.687 |
| 10 | 杉山 美佐  | 静岡  | DD BIKES  | 4:29.393 |

XC男子E1-1 (32km)

- |    |             |     |           |            |
|----|-------------|-----|-----------|------------|
| 1  | 竹谷 賢二       | 千葉  | FORD/SP1  | 52:45.95   |
| 2  | 鈴木 雷太       | 長野  | ﾌﾞﾘｯｼﾞｽﾄﾝ | 1:54:13.17 |
| 3  | 山口 孝徳       | 埼玉  | MX/MON    | 1:54:41.01 |
| 4  | ﾘｯﾁｰﾄﾞ・ﾅｯﾌﾟ | 長野  | mx/STO    | 1:55:33.31 |
| 5  | 小平 幸永       | 長野  | ｷﾞﾝｼﾞﾝ    | 1:55:58.92 |
| 6  | 松本 駿        | 長野  | GT JAPA   | 1:57:17.67 |
| 7  | 門田 基志       | 愛媛  | 焼鳥山鳥      | 1:57:55.88 |
| 8  | 山本 和弘       | 北海道 | GASPANIC  | 1:59:44.34 |
| 9  | 佐藤 貴巳       | 長野  | Jamis     | 2:00:04.50 |
| 10 | 辻 義人        | 大阪  | MX        | 2:01:17.93 |

XC女子E1-1 (19.2km)

- |   |       |    |             |            |
|---|-------|----|-------------|------------|
| 1 | 南部 博子 | 長野 | TREK VW1    | 40:30.17   |
| 2 | 中込由香里 | 長野 | SY-Nak      | 1:46:56.28 |
| 3 | 高橋いづみ | 東京 | SY-Nak      | 1:51:35.48 |
| 4 | 田崎 綾  | 千葉 |             | 2:03:11.80 |
| 5 | 篠崎奈緒子 | 埼玉 | ARAI MURACA |            |
| 6 | 内田 順子 | 東京 | SY-Nak      |            |

## 室内世界選手権大会 兼 ワールドカップアジア予選派遣決定戦

7月6日から7日、千葉県我孫子市の中央学院大学体育館で、今年千葉県沼南町体育館で開催されるアジア室内自転車競技選手権、サイクルサッカーワールドカップアジア大会、及び世界室内自転車競技選手権への派遣決定戦が開催された。

ワールドカップアジア大会は本年度から始まる新大会で、今年はアジア選手権の翌日にドイツ、チェコの2チームを迎え、国別対抗ではなくクラブ対抗形式で行い、アジア勢で最上位のチームが来年2月にドイツでワールドカップ本大会に出場できる。日本はワールドカップアジア大会の地元開催のため4チームに出場枠が与えられる。なお、大会結果は右記のとおりとなった。

8月17日(土)に開催されるアジア室内自転車競技選手権大会には、香港、マカオ、マレーシア等アジア各国の選手・役員が参加し、各国選手がアジアチャ

ンピオンを目指して華麗な演技や技や迫力あるプレイが展開される。日本は、サイクルサッカーで5連覇を目指し、サイクルフィギュアは王座奪還を目指して戦います。入場無料ですので、自転車を使う球技と体操、自転車を楽しむ1つである室内自転車競技を是非見に来てください。(植本 昌之)



佐浦ひろゆき

### [ 競技結果 ]

第5回アジア室内選手権サイクルサッカー派遣決定戦

- |   |       |        |
|---|-------|--------|
| 1 | 芦塚・中野 | 東京工業大学 |
| 2 | 青野・佐藤 | 第一経済大学 |
| 3 | 富田・小林 | 桃山学院大学 |
| 4 | 上田・西内 | 大阪大学   |

2002年世界室内選手権サイクルサッカー・2002年ワールドカップアジア派遣決定戦

- |   |        |                   |
|---|--------|-------------------|
| 1 | 都築・松田  | ﾁｰﾑ ｸﾙﾊﾞ          |
| 2 | 現王園・手島 | C.C.K.ｶﾞﾝｼﾞｰｽﾞ 'K |
| 3 | 森・黒田   | ﾁｰﾑ ﾌｼﾞ           |
| 4 | 玉井・神木  | 江ノ島ｷﾝｸﾞｽ          |
| 5 | 木下・宮本  | ﾋﾞﾝｷｰｽﾞ 大阪        |
| 6 | 宮川・坂本  | 神戸・石川             |

第5回アジア室内選手権サイクルフィギュア・2002年世界室内選手権派遣決定戦

男子

- |   |        |        |        |
|---|--------|--------|--------|
| 1 | 佐浦ひろゆき | 東京球輪会  | 276.64 |
| 2 | 永井 隆   | 東京工業大学 | 230.60 |

女子

- |   |       |       |        |
|---|-------|-------|--------|
| 1 | 小野寺千春 | 東京球輪会 | 241.60 |
| 2 | 堀井 和美 | 東京球輪会 | 230.66 |
| 3 | 宮崎 沙織 | 東京球輪会 | 224.40 |

## 資格審査委員会ほか 決定事項

平成14年7月11日に行われた本連盟資格審査委員会において、下記競技者資格に関し、UCI及びJCF規則に基づき下記のとおり処分を科すことを決定しました。

- 1 競技者 熊谷 薫(福島県登録07MJ001344)
- 2 事由 平成14年5月19日、埼玉県さいたま市で行われた第71回全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラック・レースにおけるアンチドーピング検査の際、検査対象となったにもかかわらず、自己の責任において対象者の確認をせず、結果として出頭しなかった。
- 3 決定 平成14年7月11日より7月24日までの2週間、選手の資格を停止する。また、罰金10,000円を科す。  
本連盟に登録する競技者は、登録者規程第1条にあるように、競技規則をはじめ諸規程およびUCI規則を順守しなければならない。特にアンチドーピングについては、本連盟登録者規程第2条に「競技に際して、特にドーピングまたは暴力行為などによりフェアプレーの精神に明らかに違反してはならない。」とあるように、厳しく定められている。アンチドーピング検査規則においては、検査への不出頭はドーピング行為と同等とみなされる重大な違反行為である。  
ここに厳重な警告を与えるとともに、選手の資格を停止し、罰金を科すことにより、本人の猛省を促す。今後、競技に参加するに当たっては諸規則を理解の上、十分に注意して臨むように指導する。
- 4 適用条項 UCIアンチドーピング検査規則第72条、124条及び132条

平成14年6月27日に行われたアンチドーピング委員会において、下記競技者資格に関し、UCI及びJCF規則に基づき下記のとおり処分を科すことを決定しました。

- 1 競技者名 遠藤 友子(大分県44FJ991666)・青木千江子(群馬県10FU011402)・篠原 龍馬(高知県39MU972921)  
福井 敬司(鳥取県31ME972171)・伊藤 太一(山梨県15MJ981438)
- 2 事由 平成14年5月18～19日、埼玉県さいたま市で行われた第71回全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラック・レースにおけるアンチドーピング検査の際、検査対象となったにもかかわらず、自己の責任において対象者の確認をせず、結果として規定時間に遅れて検査室に出頭した。
- 3 決定 当該者に警告を与え、罰金5,000円を科す。
- 4 適用条項 UCIアンチドーピング検査規則第72条及び132条

## 日本スポーツマスターズ2002自転車競技実施要綱(抜粋)

期日 平成14年11月9日(土)・10日(日)

会場 平塚競輪場(〒254-0801平塚市久領堤5-1)J R東海道線「平塚駅」に南口より徒歩15分

実施種目・参加人員

男子 1kmタイムトライアル75名、スプリント56名、3km個人追抜競走40名、ポイントレース80名、ケイリン70名、  
チームスプリント46チーム

女子 500mタイム・トライアル20名、スプリント10名、2km個人追抜競走10名

年齢区分(平成14年4月1日現在の満年齢)

男子 1部(35歳以上、40歳未満) 2部(40歳以上、45歳未満) 3部(45歳以上、50歳未満)  
4部(50歳以上、55歳未満) 5部(55歳以上) 女子(35歳以上)

\*参加は1人2種目まで(団体種目は除く) \*チームスプリントは年齢区分を超えたチーム編成でも可

参加資格 平成14年度アマチュア競技者登録を完了した者。

第57回国民体育大会自転車競技会に選手として参加する者は本大会に選手として参加することはできない

参加料 1人3,000円(監督専任を除く)\*参加者の旅費、宿泊費、参加料は自己負担とする。

申込方法 詳しくは 所属都道府県車連 へお問合せください。



JCFニュース

ヘルメットの新規公認

公認番号	公認日付	公認申請社	製造社	形式名	公認条件
32-196	2002/7/1(新規)	ライトウエイプロダクツジャパン(株)	Mango Sport System	ブリーズ(BREEZE)	バイザーはマウンテンバイク・クロスカントリー シクロクロスにおいてのみ使用が認められている旨の注意書を同梱すること。
32-197	2002/7/1(新規)	ライトウエイプロダクツジャパン(株)	Mango Sport System	バータス(VIRTUS)	
32-198	2002/7/1(新規)	ライトウエイプロダクツジャパン(株)	Mango Sport System	エスケープ(ESCAPE)	バイザーはマウンテンバイク・クロスカントリー シクロクロスにおいてのみ使用が認められている旨の注意書を同梱すること。

ライトウエイプロダクツジャパン(株) 171-0022 東京都豊島区南池袋3-18-34池袋シティハイム102 03-5950-6002

## 第14回アジア競技大会・日本代表選手団

大会期間：平成14年9月29日～10月14日（ロード9/30～10/3、トラック10/4～8、MTB10/10～13）

競技会場：韓国・釜山

代表選手団：

トラック 神山雄一郎(JPCA栃木)・山田 裕仁(JPCA岐阜)・渡辺 晴智(JPCA静岡)・太田 真一(JPCA埼玉)  
金子 貴志(JPCA愛知)・伊勢崎彰大(JPCA千葉)・大森 慶一(北海道)・飯島 規之(JPCA埼玉)  
飯島 誠(JPCA)・黒木 裕介(東京)・西谷 泰治(広島)・福島 晋一(JPCA)  
太刀川麻也(茨城)・遠藤 友子(大分)・大菅小百合(長野)

ロード 渋谷 淳一(JPCA)・鈴木 真理(JPCA)・岡崎 和也(JPCA)・沖 美穂(JPCA)・大塚 歩(栃木)

スタッフ 監督 班目 秀雄(連盟強化コーチ)  
コーチ ゲーリー・ウエスト・福田 公生・高橋 松吉(連盟強化コーチ)  
ドクター 小林 裕幸(連盟医科学委員)  
マニヤン 藤原富美男・森 昭雄(連盟強化スタッフ) 通 訳 増田恵美子(連盟強化スタッフ)  
マッサージャー 柳 浩史・石田 宗男(連盟強化スタッフ) 総 務 選手強化部

## 連盟の動き(6月中旬～7月中旬)

- 6月20日 平成14年度第1回理事会  
25日 平成12年度日自振公益補助金確定調査  
27日 平成14年度第1回評議員会
- 7月1日 職員会議  
2日 トラック強化合宿(～4日)於:泉崎  
7日 第2回強化委員会 於:大和町  
11日 第1回資格審査委員会(アチド・ピョク)について  
第3回常務理事会兼選手強化本部会  
第1回国際大会派遣選手選考委員会  
アジア競技大会会場視察(帰国 7/14)於:大韓民国  
13日 ツールド・ラベリ日本選手団出発(帰国 7/24)於:カタ  
15日 第2回総務委員会  
16日 アシMTB選手権大会日本選手団出発(帰国 7/22)於:チャイニーズタイ  
18日 ツアード・チンハイ湖日本選手団出発(帰国 8/6)於:中華人民共和国  
20日 第1回シロコ小委員会

平成14年度  
財団法人日本自転車競技連盟  
理事の変更について

(新)山口 秀雄氏(久和 正孝氏より変更)

1952年12月23日 埼玉県

勤務先:埼玉県立鳩山高等学校

平成14年度第1回理事会(6月20日開催)及び第1回評議員会(6月27日)で変更が承認された。

## 編集後記

国際競輪レースを見たことがありますか。世界の一流選手が日本で、競輪に参加して、日本選手と対戦しており、もう20年実施しています。日本のファンに世界の一流選手のスピードを目の前で見られるよう実施しています。

ワールドカップ、世界選手権と毎年世界のどこかで、自転車競技が開催され日本選手が参加していますが、なかなか結果の情報が伝わってこない。やはり結果が悪いからか。

競輪も前回シドニーオリンピックから正式種目に採用されましたが、成績が今一つ芳しくない。それでもマスコミの扱いは、日本で生まれた柔道と競輪の取り扱いはすごい。

これに反して、世界で活躍している外国人選手が参加する、国際競輪レースは目立たない。世界のマスコミも来日しない。淋しいことです。もっと注目をあびるよう企画レースの検討等、業界上げて至急実施してほしい。ファンからは、外国人は強すぎる、日本選手では勝てない等の意見を聞くが。

本来、国際競輪レースを実施する趣旨は、あくまで自転車の振興と競輪の興趣あるレースをファンに提供し、スポーツ性を高めることにあると思う。いろいろファンに好感のもてるレースを工夫して実施しないと、ますますファン離れに拍車がかかる。

各地で自転車競技大会が、毎週のように開催されている。自転車競技を愛するアスリート達の情熱が伝わってくる。この若者たちの目指す、世界へ挑戦していくためにも、プロの選手はもっともっと強くなって、自転車競技を愛する若者の目標になるよう、頑張らないといけない。と思う。

国際競輪レースだって、外国人選手と対戦するだけでなく、本当の国際化を取り入れる、ことを念頭に検討してほしい。(鈴木 賢三)



シクリスムエコー No.88 2002年7月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩 楯 昭 一

編集人/村 田 統 司

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL <http://www.jcf.or.jp/>